



日本共産党杉並区議会議員

週刊

こんにちは 山田耕平 です

2018.11.29 No.318

このニュースへのご感想
ご意見をお寄せください!

杉並区善福寺 2-2-1 1
TEL 090-9973-0941
ホームページ
<http://yamadakohei.jp>

日本共産党杉並区議団の条例提案

国保料負担軽減条例 委員会でも否決

■多子世帯への負担軽減を
開始した自治体も多い

自治体名	対象	軽減内容
東京都昭島市	18歳以下の加入者が2人以上の世帯	18歳以下のうち2人目の均等割額を半額、3人目以降を9割軽減
東京都東大和市	18歳以下(高校生世代以下)の加入者が3人以上の世帯	3人目以降の均等割額を無料化
東京都清瀬市	前年所得が300万円以下の世帯で、18歳未満の子が2人以上の世帯	第2子以降の均等割額を最大で5割軽減
神奈川県横浜市の	19歳未満(前年12/31時点)の被保険者が賦課期日に同一世帯に在る(主国保に限)	①16歳未満1人につき330,000円 ②16歳以上19歳未満1人につき120,000円 主の基準総所得金額①②を控除し所得割保険料算出。
埼玉県富士見市	前年の世帯総所得が400万円以下で、22歳以下が3人以上の世帯	第3子以降の均等割額を免除
埼玉県ふじみ野市	賦課年度の3/31に18歳未満の子が3人以上の世帯の納税義務者	18歳未満の3人目以降の均等割額
兵庫県赤穂市	高校生までの子ども3人以上を養育している世帯	均等割額を3人目は1/2減額、4人目以降は免除
福岡県北九州市	前年の世帯所得が300万円以下で、所得割が賦課され、18歳未満の子等を2人以上扶養	18歳未満の子等2人目から1人につき、最高33万円に所得割率を乗じて得た額を所得割額から減額
宮城県仙台市	4/1時点で18歳未満又は4/2以降に出生した被保険者がいる世帯	対象者の均等割額の3割相当額を減免
神奈川県川崎市	前年12/31現在①16歳未満、又は②16歳以上19歳未満の被保険者がいる世帯	賦課基準額から一定額を控除して所得割算定(最大賦課基準額の者から33万円×①人数の額と12万円×②人数の額を控除)
埼玉県鴻巣市	18歳未満の第3子以降	対象者の均等割額から、医療分16,000円、後期分13,000円を、H30～H32年度まで減免

11月26日、第四回定例会保健福祉委員会が開かれ、党区議団が提案し、継続審査となっていた「国保料負担軽減条例」が審査されました。

まるで現代の人頭税：子1人5万1千円の負担

党区議団の条例提案は、国保料の「均等割」課税の問題を解消すべく、第3子以降の均等割額を免除し保険料負担を軽減するものです。国保料は毎年値上げされ、加入者世帯に重い負担となっています。なかでも、収入のない子どもにも賦課される「均等割」は、家族の数が増えるごとに加算され、今年度は子ども一人当たり5万1千円もの負担となりました。

納税能力に関わらず国民一人あたりに一定額を課す税制は、封建時代などに人頭税として適用されていたものであり、未だに国保料の課税方法としていることは重大な問題です。

「均等割」問題は、特別区長会を始め、各自治体で改善を求める声が上がっていますが、国が対応をしません。国への問題提起を含め、区独自の対策を実施することを求めました。

条例提案の概要

■必要な予算額
必要な予算額は約2700万円。一般会計の今年度当初予算額は約1799億円であり、約0.015%。

■財源はどうするのか？
今年度予算の予備費(3億円)や財源保留額(10億564万円余)で対応が可能。H29年度末の基金残高は523億円。内、財政調整基金※342億円からも対応可能。※自由に活用できる貯め込み。

保健福祉委員会での各会派の賛否

未来	す自	杉わ	立憲	共産	平和	公明	自民	会派
×	×	○	×	○	×	×	×	賛否

自公立等区独自の対策を拒絶

委員会では提案者として党区議団が答弁に立ち「国が国保料の減免を認めていること」「財源は十分に確保可能であること」等を丁寧に示しました。

しかし、他会派は制度上の問題を認めつつも「軽減措置は区単独でなく、国の制度で行うべき」自民・井原議員。「制度改革の制度内で検討すべき」公明・大槻議員。「国の23区富裕論に口実を与える」いのち平和・奥田議員。「所得制限が設けられていない。限られた財政の中で真に行政支援を必要とする方に支援すべき。」立憲・関口議員。等々の理由により議案には反対。

少数会派の松尾議員は「自治体独自の支援を実施し、国や都の制度改革を促す意味もある」と賛成。賛成少数により議案は否決されました。豊かな財政力を区民生活に振り向けない議員の姿勢が厳しく問われます。引き続き区民の負担軽減に向け全力を尽くします。

予算執行率が低い介護施策の拡充を

介護保険改悪の影響は深刻

区議会第四回定例会では高齢者福祉（介護保険制度改悪と執行率の低さ）について一般質問しました。

今年度から介護保険制度改定（第七期）が実施されていますが、生活援助サービスの利用抑制、サービス利用料の3割負担導入、介護報酬引き下げによる区内事業者への深刻な影響等、介護現場に重大な打撃を与えています。

杉並区内の介護現場で発生している事例を取り上げ、区の認識と国への対応を求めましたが、区は「事態を注視する」との不十分な答弁を繰り返しました。

地域包括ケアの低執行率

前年度決算では高齢者の地域包括ケアの推進に関わる諸施策の執行率が極めて低い状況です。17施策の内、8施策が執行率80%を切っています（下表）。執行率の低さは地域包括ケア推進の上でも問題であり、改善を求めました。

区は「ご指摘の通り分析している。今後適切に対応していきたい。」と答弁。改善を約束しました。

見守り配食サービスは廃止に…

高齢者配食サービスは執行率が60%程度であり、この間の利用対象者の厳格化や民間サービスの代替等により利用人数が減少しています。しかし、同サービスは、調理や買物が困難・見守りが必要な高齢者に対して食事の提供と共に安否確認をし、健康状態等を継続的に見守る取り組みであり、利用者は100名を超えています。今後の事業継続を求めたところ、区は利用者が減少傾向にあること等を理由として「今年度で事業を廃止する」と表明しました。現在も多くのサービス利用が行なわれており、重大な問題です。

■地域包括ケア施策の内、執行率の低い施策

施策名	執行率
介護保険事業者支援	48.4%
高齢者いつときお助けサービス	70.0%
高齢者配食サービス	60.4%
高齢者住宅改修費助成	68.9%
高齢者24時間安心ヘルプ	59.5%
高齢者緊急安全システム	77.7%
介護保険住宅改修理由書作成に対する助成	23.9%
介護サービス利用低所得者の負担軽減	59.0%

育メン日誌

半そで息子の衝撃発言…

我が家の長男・長女は、この寒いのに薄着を好みます。半そで・半ズボンで通学・通園することも…。

通園時に会う親御さんから、「おうちの方針ですか？」等と言われるのですが、全く違います（苦笑）。完全に本人の希望です。

しかし、ある時、息子が長袖にするといい出しました。理由を聞いてみると、ナント…「鼻がふけるから」の一言。親もビックリの衝撃発言です。噂に聞く昭和の鼻たれ小僧再来か…。



半そで兄妹

その後、きちんとポケットティッシュを使用するよう話しました。

杉並区議会第四回定例で一般質問④

50年前の道路計画は見直しを！

補助132号（西荻・北銀座通り）の拡幅

一般質問では、補助132号線都市計画道路の整備方針による住民生活への影響を質しました。

この整備方針は、西荻窪駅南側神明通りから北側の青梅街道まで延長約1070mが事業区間で、既存道路幅を現在の約11mから16mまで拡幅する計画です。沿線の住宅や商店は道路拡幅により立退き等の重大な影響を受けるため、50年前に計画決定されてから、計画が進められることはありませんでした。

しかし、この間、優先整備路線と位置付けられ、事業認可に向けた手続きが加速しています。

沿線住民からは計画見直しを求める声広がっており、区の認識を質したところ「丁寧に説明する」と繰り返し、計画に固執する姿勢を示しました。まちづくりの当事者は住民であり、計画見直しも含め再検討すべきです。



沿線は商店・住宅が建ち並ぶ